

地域生活支援拠点等の整備等にかかる障害福祉専門分科会での ワーキンググループの設置について

1. 設置の目的

社会福祉審議会障害福祉専門分科会は、障害者基本法第 36 条第 4 項に規定する合議制の機関として、障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進についての調査、審議、及び施策の実施状況の監視、障害者計画の策定に係る意見などを担当しているものですが、同専門分科会の構成員を中心に、施設からの地域移行の現状と課題を審議し、解決に向けた基盤整備について検討するためのワーキンググループ（以下、WG という。）を立ち上げます。

2. 経過

令和4年8月29日に開催された第1回障害福祉専門分科会において、「障害福祉専門分科会では、審議内容が多岐にわたり、会議においても報告事項が多くを占め、施設からの地域移行の現状と課題、市の障害福祉施策について、具体的な方策から議論するまでには至っておらず、より迅速な施策推進の一助として障害福祉専門分科会の構成員を中心としたWGを立ち上げてはどうか」との提案がありました。

現在本市においては、地域生活拠点等を令和5年度内に整備することを目標とし、自立支援協議会及び障害福祉専門分科会の意見を聞いて進めていくこととしており、WGを設置することにより詳細な検討を行うことができ、整備の一助になるものと思われ設置について検討してきたところです。

3. WGの構成及び担当内容

WGの構成員については障害福祉専門分科会委員を中心に外部のサービス事業者及び市職員で構成され、担当内容については精神科病院や入所施設からの地域移行の現状と課題を審議、解決に必要な社会基盤整備について検討し、障害福祉専門分科会に報告するものです。

4. 開催頻度およびコスト

開催頻度については 1～2 か月に 1 回程度を想定しており、外部連携組織の位置づけで報酬等の支給は行わない予定です。

5. 地域生活支援拠点等の整備との関連について

地域生活支援拠点等は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者の生活を地域全体で支えるため、居住支援のためのサービス提供体制を、地域の実情に応じて整備するものとされており、本市においては枚方市障害福祉計画（第 6 期）の成果目標として、令和 5 年度末までに整備することとしているものです。当該 WG においては施設入所者等の地域生活移行の基盤整備の検討を担当としているところから、今後地域生活支援拠点の整備についても WG で検討を重ねたうえ、障害福祉施策推進委員会で検討の上、自立支援協議会及び障害福祉専門分科会での審議へとつなげてまいります。